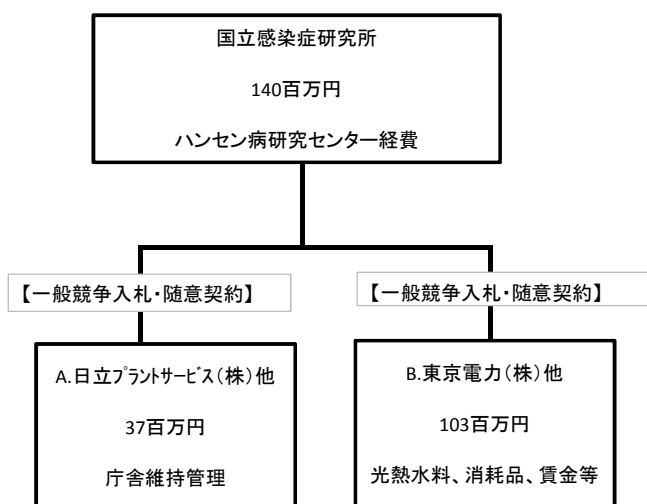


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	ハンセン病研究センター経費			担当部局庁	国立感染症研究所		作成責任者		
事業開始年度	平成9年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部会計課		猪股 研次		
会計区分	一般会計			政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ハンセン病研究センターの光熱水料や施設の維持管理及びハンセン病の研究事業の推進を図る。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	(1)ハンセン病研究センターの研究棟、管理棟、動物棟の管理運営及びP3新研究実験棟運営費 (2)ハンセン病の薬剤耐性菌に関する調査研究 (3)ハンセン病国際協力推進事業(ハンセン病濃厚地域に人材を派遣し流行地技術移転)								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	159	152	143	149	149		
	執行額	159	151	140					
	執行率(%)	100%	99%	98%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	27年度
	目標値として3.5点以上の獲得を目指す。	毎年行っている研究課題評価の総合点を間接指標として用いる。(26年度の点数はまだ公表していない。)	成果実績	点	4.2	4.4	集計中		
			目標値	点	3.5	3.5	3.5	-	
			達成度	%	120%	126%	集計中		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	ハンセン病の流行地域を持つ国に専門家を派遣し技術協力を行う。	活動実績	人	4	0	2			
		当初見込み	人	2	2	2	2		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	執行額/派遣人数	単位当たりコスト	百万円	39.8	0	70	74.5		
		計算式	X/Y	159百万円/4	-	140百万円/2	149百万円/2		
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	消耗品費・備品費	8	8						
	光熱水料・燃料費	47	47						
	賃金	3	3						
	雑役務費	89	89						
	通信運搬費	1	1						
	謝金・職員旅費	1	1						
計	149	149							

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国費の投入が必要。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業であるため。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	国民の健康を守るために必要な試験研究等の実施に必要な施設の維持管理であり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	会計法に基づき適切に契約を行い、競争性を確保している。引き続き一般競争入札における参加者数の確保に努める。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	昨年度に比べ執行額が大幅に増加したためコストが増加したが、引き続きコスト削減に努める。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	少額の随意契約であっても複数社から見積書を徴収し、最低価格で購入するなど、コスト削減に努めている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績が成果目標以上になっているので見合っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	事業計画時に見込んだ内容を概ね達成できている。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	整備されている施設については使用率も高く、十分に活用されている。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	-	
点検・改善結果	点検結果	主要な保守点検業務は原則一般競争入札により発注した。それ以外についても個別に実績・技術等を勘案した複数の業者の競争見積りかけ随意契約により年次点検・整備を行った。また、警備業務、機械設備維持運転委託費及び動物飼育については、村山庁舎と一括で一般競争入札に付することにより支出の削減と効率的な運用を図っている。また、機器の保守業務のみならず備品、消耗品等も会計法に基づき適正に調達しているところであるが、点検結果等を参考に、施設の安定的かつ安全な運用を行える中・長期的な維持管理計画を検討、消耗品の一括購入等より効率的な予算執行を検討すること。			
	改善の方向性	施設の安定的かつ安全な運用と予算の削減を両立させるために、従来の保守点検委託および備品購入、消耗品購入のシステムの見直しを行った。保守点検業務委託については年間契約のみならず、随意契約により予算の削減をおこない、備品購入についてはその必要性や費用対効果などを勘案して購入を行う方向とした。また、消耗品については年間使用量の適切な把握と代替品の検討などを含めて、引き続き改善に取り組んで行く。村山庁舎とも共通の計画を策定し、費用の削減に取り組んで行くのが有効であると考えている。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	国立感染症研究所ハンセン病研究センターの運営に必要な経費であるため、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	627	平成23年度	568	平成24年度	505
平成25年度	887	平成26年度	887		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.日立プラントサービス(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	設備保守点検業務	7			
雑役務費	庁舎蒸気発生器点検作業	0.9			
雑役務費	庁舎還元槽清掃業務	0.7			
雑役務費	庁舎還元槽清掃業務	0.7			
計		9.3	計		0
B.東京電力(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
光熱水料	電気料	42			
計		42	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日立プラントサービス株式会社	設備保守点検業務	7	随意契約	-
2	日立プラントサービス株式会社	庁舎蒸気発生器点検作業	0.9	随意契約	-
3	日立プラントサービス株式会社	庁舎還元槽清掃業務	0.7	随意契約	-
4	日立プラントサービス株式会社	庁舎還元槽清掃業務	0.7	随意契約	-
5	裕幸計装株式会社	庁舎設備点検業務	8	随意契約	-
6	株式会社エンバイシス	排水処理設備保守点検業務	2	1	81.9%
7	株式会社アルバーネット	P3実験室ホルムアルデヒド燻蒸消毒業務	1	随意契約	-
8	株式会社アルバーネット	空調設備保守業務請負契約	1	随意契約	-
9	衆浩建設株式会社	庁舎空調修繕作業	0.9	随意契約	-
10	衆浩建設株式会社	庁舎防水修繕業務	0.7	随意契約	-
11	衆浩建設株式会社	庁舎防水修繕業務	0.3	随意契約	-
12	公益社団法人東村山市シルバー人材センター	清掃業務委託契約	0.9	随意契約	-
13	千代田テクノル	庁舎設備点検業務	0.7	随意契約	-
14	関東電気保安協会	自家用電気工作物保安管理業務	0.6	随意契約	-
15	高圧メンテナンス(株)	消防設備点検業務	0.5	随意契約	-
16	新和電機(株)	庁舎設備修繕業務	0.2	随意契約	-
17	新和電機(株)	庁舎設備修繕業務	0.1	随意契約	-
18	新和電機(株)	庁舎設備修繕業務	0.1	随意契約	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京電力株式会社	電気料	42	随意契約	-
2	東京ガス株式会社	ガス料	14	1	99.9%
3	東京都水道局	水道供給	3.7	随意契約	-
4	非常勤職員A	業務補助	2	-	-
5	三浦工業(株)	研究機器点検	0.8	随意契約	-
6	三浦工業(株)	研究機器点検	0.5	随意契約	-
7	三浦工業(株)	研究機器点検	0.1	随意契約	-
8	三浦工業(株)	研究機器点検	0.1	随意契約	-
9	三浦工業(株)	研究機器点検	0.1	随意契約	-
10	尾崎理化株式会社	備品購入	0.7	随意契約	-
11	尾崎理化株式会社	消耗品購入	0.3	随意契約	-
12	尾崎理化株式会社	消耗品購入	0.2	随意契約	-
13	尾崎理化株式会社	消耗品購入	0.2	随意契約	-
14	尾崎理化株式会社	消耗品購入	0.2	随意契約	-
15	複十字病院	健康診断業務	0.7	随意契約	-
16	複十字病院	健康診断業務(特別)	0.2	随意契約	-
17	株式会社バイオシス	研究機器点検	0.6	随意契約	-
18	株式会社バイオシス	研究機器点検	0.2	随意契約	-
19	株式会社バイオシス	研究機器点検	0.1	随意契約	-
20	進和テック株式会社	消耗品購入	0.6	随意契約	-
21	進和テック株式会社	消耗品購入	0.1	随意契約	-
22	進和テック株式会社	消耗品購入	0.1	随意契約	-
23	(株)アルバーネット	研究機器修理	0.6	随意契約	-